

## 障がい福祉についての学習会開催される

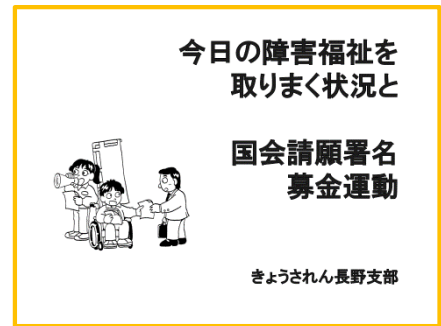
日時：2016年2月26日（土）

場所：NPO法人ポプラの会事務局

講師：諏訪 元久氏

きょうされん長野支部事務局長

社会福祉法人アルプス福祉会コムハウス施設長



2月26日、ポプラの会事務局で「私たちを取り巻く障がい福祉の現状について」の学習会を開催しました。講師は、きょうされん長野支部事務局長、社会福祉法人アルプス福祉会コムハウス施設長 諏訪元久氏です。

（以下、諏訪氏の講演内容）

私が学生時代に起きた森永ヒ素ミルク事件で、ミルクを飲んだ赤ちゃんが重い障がいを負ってしまいました。救済する団体として私も運動し「その人の人生をもう一度」という気持ちにより、その後の障がい者福祉、きょうされんの運動にも関わってきました。

「障がいのある人もない人も人として当たり前で生きる」ことが原点です。

2006年に施行された障害者自立支援法は障がいのある人に障がいとその個人の責任としたものでした。利用しないと困る福祉サービスが「応益負担」となり、その人の生活状況に関係無く一応に重い負担を負うことになりました。当事者中心に訴訟を起こし、国が和解案を示しました。しかし、その後、現在の障害者総合支援法になり、平成30年4月から障がい福祉サービスを今までと同じように受けられなくなることが強く懸念されています。

65歳になったら個人の負担が何倍にも重くなった例もあります。障がいは、医学の視点（医学モデル）だけではなく「障がいは不便さと社会との間の生きづらさによるもの（社会モデル）」でみる必要があります。障がいのある人を社会全体で支えることが必要です。私たちを取り巻く情勢・法制度を強く意識しなければならない状況です。

「障害者関連予算を少なくとも先進国平均レベルに引き上げること」「障がいのある人も所得保障がされること」等を求めてきょうされんの全国署名を行っています。

4月20日に国会請願行動、翌21日には日比谷野外で緊急集会を行います。

諏訪氏の資料より抜粋

今回の  
第39次国会請願署名・募金運動は  
これまでになく

障害のある人たちをとりまく  
情勢・法制度の改正論議を

強く意識しなければならない  
状況になっています。

社会保障費 5000億円削減は  
財務省からの至上命令

総合支援法見直し  
「高齢化」「重度化」への対応  
といいつつも  
介護保険との統合を見据え  
自助・共助の福祉の推進  
公的責任はどこへやら

なぜ毎年署名にとりくむのでしょうか

①障害者の願いを制度として実現していくため

\* 請願は、憲法第16条に書かれている政治に参加する権利であり、制度をつくる(なくす・変える)ための正当な方法。数を集め、議員に訴え、国会での署名の採択をめざします。

なぜ毎年署名にとりくむのでしょうか

②障害者・関係者の願いを広く地域の人に知ってもらうため

\* 署名の内容を伝え、賛同の意思表示としてサインをもらいます。署名数は、どれだけ地域の人に、障害者・関係者の願いを知ってもらえたのかのバロメータです。

なぜ毎年署名にとりくむのでしょうか

③権利の主体者としての障害者への理解を広めていくため

\* なかまとともに元気に街頭で訴えます。権利の主体はわたしたちなんだ！と多くの市民に知ってもらいます。

現在、一人の障害のある人が使える制度は労働か福祉か  
作業所で働く仲間たちは「無職」扱い



その人の必要に応じて労働法も福祉法も適用される新しい  
制度が求められている。

現在の障害のある働く人を支援する政策

花子さんは車いすです。トイレ介助が必要なので一般企業では働けません



太郎さんは、毎日作業所で働いていますが、給料と年金だけでは生活できません

わたしたちが願う障害のある働く人を支援する政策

花子さんは車いすですが、トイレの介助をしてくれる人が職場にいるので一般企業で働けます



太郎さんは、毎日事業所で働いていますが、給料だけでは大人として生活するための口は不足です。足りない分は、国から保障されます

請願項目④

障害者関連予算を少なくとも先進国の平均レベルまで引き上げてください。

国内総生産に占める障害のある人の地域生活を支援にかかる予算割合



今回の国会請願行動日

4月20日(水)

署名用紙の全国事務局への送付は4月11日(月)となります。

※長野支部は3月末を最終集約日に署名用紙を長野支部に届けてください

皆さまに署名と募金のお願い

社会報償費、障害者福祉の為の法整備、予算を施策に確保する為にも、今回のきょうされん第39次国会請願と翌21日の全国集会を成功させる必要があります。

全国署名に是非、ご協力ください。署名用紙はポプラの会にあります。お問い合わせの上、ご協力をお願いいたします。

私たちの願いを国会請願で議員に届けます。請願行動の為の募金にも是非ご協力をお願いします。締切は3月末です。

ポプラの会 (☎026-228-3344)、各事業所、きょうされん (☎03-5937-2444) までお送りください。

## 学習会参加者 アンケート感想・要望

### 30代 当事者

65歳問題とJR問題がきになります。

障害者権利条約19条と衝突する精神科病棟転換型居住系施設問題も気になって・・・。

### 40代 当事者

今日はどうもありがとうございました。

資料もわかりやすく読ませていただきました。お話（説明）もわかりやすかったです。

署名を集める際に今度は良く説明できそうです。

65歳境にどう変わったかというお話で、負担が9倍になったと聞いてショックでした。

一人でも多くの人に署名をもらえるように運動を続けていきたいです。

### 30代 当事者

私たちの利用している制度について初めて勉強しました。

知ったうえで考えるということこれからしていきたいと思います。

私たちが声をあげていくことの大切さを実感しました。

誰かがやってくれるから・・・と甘えもあったのですが、自分も考え、できることをしていくという姿勢もこれからは持ちたいです。

### 30代 当事者

本日は有難うございました。

今まで他人事のように考えていた、自立支援の事の名前しか知りませんでした。今後は自分も、色々なことに対し学んでいく大切さができるようにしたいと思います。

後、もう少し政治にも関心を持つべきだと感じさせられました。

### 30代 当事者 支援者

国の施策が、私たちの望むものと違う方向へ向かっているのが悔しいです。それだからこそ地道な運動を続けていかなければと痛感しました。また、参議院選の一票に、しっかり思いを託したいと思います。

### 30代 当事者

今日はお話し有難うございました。精神障がい者は本当に差別が大きいです。

JRは私が生きているうちに半額になると嬉しいんですが（取りあえず100歳まで生きる予定です）一度は、どん底に落ちましたが・・・生きているって最高です。（なんだか120歳まで生きたくなりました。）

### 60代 当事者

今日はありがとうございました。

総合支援法の見直し、差別解消法が4月からスタートします。

他の者との平等を根幹に当事者として出来ることを、運動を通して取り組みたいです。

### 30代 当事者

全体的に難しく理解しにくいはずの障害者福祉を取り巻く状況について、とてもわかりやすい言葉を用いて簡潔



に説明していただき、頭に入ってきやすかったです。

今後の総合支援法見直しの動きについても注目していきたいと思います。

#### 40代 当事者

やっぱり学ぶことはとても大事ななと思いました。

ふだん、一人で活字を読むこと（TOMO しかり、新聞や本等）が発症以降とても難しく感じていたので、今日のように講義していただけると、頭に入りやすいです。

また、思っていたよりも、本当にわかりやすく話していただけてありがたかったです。

街頭で宣伝するようなこともあれば参加したいです。

#### 30代 当事者

私のことは置いておいて、私の母の姉が認知症になりました。65歳の壁厚いです。

障がい者というか、老人介護に対しても考慮してほしいですね。

きょうされんの事がよくわかり、署名運動の大切さがさらによくわかりました。

#### 30代 当事者

日頃から新聞などを読んでも理解できなかった福祉政策や法律などをわかりやすく説明していただきとても勉強になりました。

障がいや病気を抱えていても、自分に出来ることを精一杯、行動していけるようにしていきたいと思います。

これからも、このような学習会の機会があるととても有難いです。

#### 50代 当事者 支援者

諏訪氏の「その人の人生をもう一度」という思いに胸を打たれました。

障がいをもったことで、その前には戻れないけれど、「より良く生きたい」という当事者、家族の思いを支えてくれるものは、こうした諏訪氏のような思いなのだと思います。

障害者自立支援法と障害者総合支援法について、分かりやすく解説してくださったので、「応益負担」が施策に盛り込まれる意味と私たちの生活に与える影響が深刻であることを知り、強い危機感をもちました。

何度かこうした学習会を開催して、現状を知ることの大切さを知り、「考える力」と「現実をみる力」を養っていかうと思いました。

私たち当事者も様々な支援団体と連帯して、自分たちの暮らしを守っていくように運動する必要性を感じます。

今日の学習会の講師を務めてくださった諏訪氏に感謝しています。



学習会の様子 右上が講師の諏訪氏